

2025年10月28日
イオン北海道株式会社

子育て支援や教育環境、動物園の充実に活用されます 「とかち帯広WAON」の寄付金を贈呈いたします

イオン北海道株式会社は、10月31日（金）に、「とかち帯広WAON」のご利用金額の一部を寄付金として帯広市に贈呈します。

帯広市とイオン株式会社は、双方が持つ資源を有効に活用し、市民が心豊かに暮らし、夢や希望があふれるみらいのまちづくりに協働で取り組むことを目的に、2017年10月に「協働のまちづくりに関する包括連携協定」を締結し、その取り組みの一環として電子マネー「とかち帯広WAON」を発行しました。このWAONは、イオングループの各店舗やWAON加盟店でご利用いただくことにより、そのご利用金額の一部を帯広市に寄付し、子育て支援や教育環境、動物園の充実に役立てられています。

「とかち帯広WAON」の2024年度の寄付金総額は345万3,103円となり、こども未来基金やこども学校応援基金、おびひろ動物園ゆめ基金に積み立てられ、各事業の推進に活用されます。

当社は、今後もお客さまに便利にご利用いただけるWAONを通じて、帯広市との連携を深め、一層の地域活性化および市民サービスの向上に努めてまいります。

【「とかち帯広WAON」寄付に伴う感謝状贈呈式について】

日 時： 2025年10月31日（金） 13:30～13:45
場 所： 帯広市役所4階 市長室
出席者： 帯広市 市長 米沢 則寿 様
イオン北海道株式会社 代表取締役社長 青柳 英樹
贈呈先： 帯広市
贈呈金額対象期間： 2024年3月1日～2025年2月28日
贈呈金額： 345万3,103円

【本件に関するお問い合わせ先】

イオン北海道株式会社 コーポレートコミュニケーション部 電話：011-865-9111

◇SDGsの取り組み

SDGs（持続可能な開発目標）は、持続可能な世界を実現するために国連サミットで採択された、2030年までの国際目標です。

この取り組みはSDGsの目標4、11、17の達成に貢献します。イオン北海道は今後もSDGsの取り組みを推進してまいります。



■「とまち帯広WAON」について

発行開始：2017年10月13日

発行手数料：300円（税込）

※iOS版「WAON」アプリでも発行が可能です。

その際、発行手数料は無料になります。

累計寄付総額：1,543万2,197円

発行枚数：5万7,308枚（2025年2月末時点）

寄付活用について：「とまち帯広WAON」の寄付金は、こども未来基金やこども学校応援基金、おびひろ動物園ゆめ基金に積み立てられ、帯広市子育てガイドブックの作成や子どもの学びと育ちを支える様々な団体の支援、おびひろ動物園施設整備などに活用されます。



■活用先の一例

1. こども未来基金 協定項目：未来を担う人材の育成に関すること
帯広市では、こども未来基金を時代を担うこどもたちの健やかな成長と豊かな心を育む施策のため活用しており、今年度は4か月児健診時における絵本の配布や子育てガイドブックの作成・配布などに活用されます。



【子育てガイドブック】

2. こども学校応援基金について 協定項目：未来を担う人材の育成に関すること

帯広市では、地域総ぐるみで子どもの学びと育ちを支える仕組みづくりを目指し、様々なボランティア団体や地域団体が連携して行う子どものための活動を支援するとともに、研修会や広報活動によりボランティア人材の養成や裾野の拡大を図っています。今年度も同様に様々な活動の支援やその周知などに活用されます。



【帯広市内の小学校で行われた地域との行事】

3. おびひろ動物園ゆめ基金 協定項目：文化・芸術・スポーツ振興に関すること

おびひろ動物園では、基金を財源に令和6年度（2024年度）、麒麟館や園路の整備を行いました。なお、今年度は、東エリア屋内休憩施設整備や園路舗装などに活用される予定です。



【麒麟館】

■イオンの電子マネー「WAON」の使用箇所について

使用可能箇所：道内で2万7,000箇所（2025年6月末時点）

※自動販売機・タクシー・ドライバー端末を除く

使用箇所一例：

イオン系列スーパー（イオン、マックスバリュ、ザ・ビッグ）や「帯広市役所（戸籍住民課・市民税課税証明窓口）」、「六花亭※」、「柳月※」、「克蘭ベリー」、「十勝トテッポ工房」、「とかちむら産直市場」、「北斗病院」、「帯広中央病院」、
その他、「セイコーマート」、「ローソン」、「ファミリーマート」、「ツルハ」、「サツドラ」、「サンドラッグ」、「しまむら」、「マクドナルド」、「吉野家」、「コメダ珈琲」、「TSUTAYA」、「ジョイフルエーカー」、「ケーズデンキ」、「エディオン」、「イエローハット」など

※一部店舗を除きます。

■帯広市との取り組みについて

○帯広市避暑可能民間施設として公表

7月1日（火）から9月30日（火）までの期間、帯広市より、帯広市内にある5店舗（イオン帯広店、マックスバリュ稲田店、ザ・ビッグイーストモール店・春駒通店・西陵店）が「熱中症特別警戒アラート」発表時の帯広市避暑可能民間施設（クーリングシェルター）として公表されました。また、各店舗は「イオンのクールスポット」として、「アラート」の発表有無に関わらず、暑熱避難場所として施設を開放しました。



○11月のイオン道産デーでフードバレーとかち認証商品「帯広牛」の販売を強化

「フードバレーとかち」は、十勝の19市町村が連携して進める「食と農林漁業」を柱とした地域産業政策です。当社はこの政策に賛同し、2022年より「フードバレーとかち」認証商品の販売を行っています。11月のイオン道産デーでは、このフードバレーとかちの認証を受けている十勝のトヨニシファームが生産した「帯広牛」を、全道のイオン・マックスバリュなどで販売します。



○子育て支援の取り組み

子育て支援の取り組みとして、イオン帯広店の子ども・ベビー用品レジで母子手帳をご提示いただくと、出産前、出産後に使用いただけるクーポンをお渡しています。